

授業科目名： 教科（生活）	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数： 2単位	かたやま まさお 担当教員名：片山 雅男
			担当形態：単独
実務内容 （実務家教員の場合）			
科 目	教科及び教科の指導法に関する科目（小学校） 領域及び保育内容の指導法に関する科目（幼稚園）		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	教科に関する専門的事項 「生活」（小学校） 領域に関する専門的事項 「生活」（幼稚園）		
「学位授与の方針」との関係 星槎大学は、「人を認める、人を排除しない、仲間を作る」という三つの約束のもと、「人と人、そして人と自然とが共生する社会の創造に貢献する」を教育理念としています。共生科学部は、この三つの約束、教育理念に基づき、「21世紀を創造する広く深い知の涵養」「共生する心の耕作」「課題探究能力の育成」「インクルージョン教育に基づいた社会実践を担い、社会変革を目指す人材の養成」を教育目的とし、以下の「星槎共生スピリット」を身に付けたものに学位を授与します。 A. 共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現の専門的知識を生かし、狭い専門領域を越えて統合しようとする意志を持つこと。 B. 問題が生起する現場において、専門知や統合知を使い、解決のために実践しようとする気概を持つこと。 C. 共感理解教育の理念を認識し、実践すること。 D. 多様な人々や生命に対して、他者を認め、他者を排除せず、仲間を作るという星槎の三つの約束の精神に則って、共生社会の創造に貢献する姿勢を身につけていること。 E. 個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけていること。 F. 共生社会創造の目的のために、絶えず学び続ける意欲を持つこと。			
授業の到達目標及びテーマ 児童に寄り添った生活の授業を行うための考え方と知識を身につける。 教材研究を通して「生活科」の内容についての知識を修得するとともに、幼稚園教育との関連や総合的な学習への展開等についても理解を深める。幼稚園から小学校低学年の教育を視野に入れた保育・教育ができる広い見通しをもった幼稚園・小学校教員を目指す。			
授業の概要 「生活科」は小学校低学年児童の身近な生活圏を学習の対象とし、児童の直接体験や具体的な活動を通して、自立への基礎を育むことをめざす科目である。本講義では、「生活科」の特質や目標、内容などについて学ぶ。			
授業計画 第1回：小学校教育と生活科の特質 第2回：生活科の目標と内容 第3回：学校と生活の内容 第4回：家庭と生活の内容			

第5回：地域と生活の内容

第6回：公共物や公共施設の利用の内容

第7回：季節の変化と生活の内容

第8回：自然や物を使った遊びの内容

第9回：動物の飼育活動の内容

第10回：植物の栽培活動の内容

第11回：生活や出来事の伝え合いの内容

第12回：自分の成長を振り返る内容

第13回：生活科と幼稚園教育との連携

第14回：生活科から総合的な学習への発展

第15回：まとめ

科目修得試験

スクーリングでの学修内容

小学校学習指導要領生活科の改訂の要点や生活科の役割及び目標など、教科の本質に関する内容の理解を図る。その上で、(1)「学校生活にかかわる活動」を通して学校の施設の様子や学校生活を支えている人々や友達などを考える。また、(5)「身近な自然を観察したり、季節や地域の行事にかかわったりする活動」では、身近な自然の観察事例を学ぶ。(7)「動物を飼ったり植物を育てたりする活動」では、動植物の飼育・栽培方法を学ぶ。(主に、1、2、3、5、7、9、10回の内容を含む。)

教科書

文部科学省『小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 生活編』東洋館出版社

参考文献

小学校生活の教科書

学生に対する評価

レポート評価（25%）、スクーリング評価（25%）、科目修得試験（50%）の割合で総合して評価する。